THE WOMAN'S WEEKLY

第貳卷　第十號

毎週金曜日發行

（大正四年十一月四日第三種郵便物認可
大正五年三月十日發行）

婦人週報

定價一部四錢五厘

本號目次

□感化出來ずば斷然捨つべきか……小橋三四子
□時事週評……冬湖學人
□一人一評＝牧野みね子
□逆境に處する用意
▽生活を離れて生活を觀る眼……中村吉藏
▽強い心と職業と……嘉悦孝子
▽自由と健康……日向きむ子
▽私の經驗から……茱末亡人
□芝居の女から……江戸屋主人
□夫妻の友情……成瀨仁藏
□燒き繪を描くお孃さん……記者
□挿畫「お人形さん」……栗原玉葉
□春の女……栗原玉葉
□かにかくに……安中花子
□魚肉の脂肪とサッカリンと……薄田斬雲
□學校行きの準備……川口華子
□履物の掃除……くれは子
□今週の惣菜……櫻井ちか子
□世界史お伽噺「木馬の計略」……斬雲
□小說「何處へゆく」……松本雲舟
□時事……新刊紹介

婦人週報社

Digitized by Google　　Original from UNIVERSITY OF CALIFORNIA

京都染物

御誂御好に應じ御古物染直しにても御新らしき品同樣美麗にいたし候

あらいはり、しみぬき、ゆのし

右之通迅速を旨とし精々入念廉價に調進可仕候間多少に拘らず御用向被仰付度偏に奉願上候

宮内省初め女子大學校の御用を承り居候

東京市本郷區湯島新花町八番地
井筒屋支店
中村榮次郎
電話下谷五六七四

（御注文の節ゝ御一報被下候へば早速御伺可申候）

肝油服用者之福音

富谷 肝(カン)油(ユー)球(タマ)

三百球入 貳圓
百球入 七十錢
五十球入 四十錢
送料各八錢

最新式の軟質膠球劑絕對に臭氣もなく美味に飲めるは此肝油球である

諸大醫の賞讚

肝油球の特効

身體の弱き人
かぜ引き易き人
腺病の人
夜盲の人
冷え性の婦人
肺の惡しき人
貧血にて艶のなき人
油氣の少ない人

發賣元 東京市赤坂區田町五ノ一
工場 東京赤坂新町三ノ三十二
藥劑師 富谷宗吉藥局
電話新橋三百十九番
振替東京七〇八一番

體力精力増進に今が肝油服用時期

高等香油 花つばき

定價 大瓶 金一圓 小瓶 金四十錢

全國到る處に販賣す

本舗 東京新ばし
福原資生堂
電新三二四番

御所御召
西陣御召

田中彌 御召店
日本橋區
日本銀行前

Digitized by Google
Original from UNIVERSITY OF CALIFORNIA

感化出來ずば斷然捨つべきか

□

左は本誌の愛讀者田中芳子樣から、數日前、記者の許に寄せられた手紙です。

□金曜日は私の修養日とて、婦人週報早朝よりいつも嬉しく拜見いたし居候。扨前號の男爵夫人の自殺に就ての向軍治氏の御所論、大体に於て誠に御尤と存じ候が、「感化出來ずば斷然捨つべし」の一項のみは如何かと存じ候。「愚なる情にひかされて、意氣地なき生活を續けて行く事は、社會の維持進歩の上からも望しくないことである」誠に其の通りと存じ候。されど棄てられし夫、棄てし妻はいかに相成候はんか。空恐ろしき心地いたし候。廣き世の中に唯一人なる夫をだに感化し得ざりし女が、果して其の後社會に有益なる働らきの出來候ものにや。もしありとするも、極々少數にて、かの矢島楫子氏の如きは、眞に奇蹟と申す方至當かと存じ候。棄てられし夫も一層深き罪惡に陥り候事にて候はん。

□夫となり妻となるは、決して合せ物、離れものには御座なく候。始めより離婚せんとて結婚する者は御座候まじ。復雜なる社會と信念なき生活が其の處に持ち行くのに候。身不幸にして意氣地なき者に妻と呼ばる丶運命なれば、天の命ずる所、終生の事業は夫をして眞實の生活を樂ましむるにありと覺悟して、一生懸命に進まば、必ず或る時期に於て成功する者と存じ候。勿論感化するには、或る期間の必要なるは申す迄も候はず、さればいつを最後と諦らめ候はんか、もはや感化の出來ぬ者と何によりて見定め候はんか。神ならぬ人、力も根も無くなりて、絶望の淵に沈む折も候はんが、そは自分の器の小さき故に候。修養し、工夫し、努力せば、猶方法も立ち、道も啓かれ候はん。

□感化出來ずば捨てなんと思ひて、感化の出來候ものにや、なほ妻なれば、多數は母に候はん。社會に對する父の欠點を、せめては我が子にて補ひ申譯せんと覺悟すべきにはあらざるか。「其の配偶者たる個人が負はねばならぬ責任ではない」と此の御言葉は餘りに理智的な餘りに男性的な冷たき切言葉に候はずや。江戸屋主人の「女にはもつと強い戀が欲しかつた」と云はれて居り候が、眞に社會の維持進歩は信念と愛と智との化合物によりて初めて出來得る事かと存じ候。

□

田中夫人がいつもながら忠實に讀書し、批判し、また自らの所論を包まず發表して、之れを筆にする迄の勞を厭はぬ眞面目さを、先づ嬉しく存じます。かやうに讀者の皆樣方が何に限らず御意見を遠慮なく發表して下さり、つまらぬ感情を狹まずに、お互ひに自由に討論する事が出來ましたら、さぞ愉快な事でございませう。田中夫人の御説に就ては、何れ向氏からも何とかお答へがあらうと存じます。只ゆくりなくも此處に提出された「感化出來ずば斷然捨つべきか」と云ふむづかしき、然しながら興味ある問題に就て、私の考へを述べて見度と存じます。

□

「斷然捨つべし」といふ事が、跡は野となれ、山となれといふ意味なら、勿論望ましき事にては無きも、病室を人工の酸素にて淸め、ストーブにて暖めて、病人の治癒に焦慮するよりも、時には新鮮なる大氣と、充分なる光線との中に、自然療養を受けしむる事が大切なる如く、個人の手を離して、社會の力によつて感化を待つこと、有効の場合もあらうと存じます。矢島揖子女史が若き時大酒家の夫を持つて、さまざまの辛勞を嘗められた末、遂に不緣の悲しみに遇はれました

Digitized by Google
Original from
UNIVERSITY OF CALIFORNIA

が、飲酒家の家庭の悲慘の有樣や、その子孫迄も害毒を受くる恐ろしき飲み物を、日本全國から驅逐したいとの熱誠から、八十三歳の今日迄も矯風事業に盡瘁せられて居るのは、必ずその心底には先夫の上にも其感化の及べかしと願ふ熱誠が、姿を變した事はあるまいと存じます。

□

「一つ爐邊を圍む者が、最も遠い心を持つて居る」と申すことは、よく私共の家庭の内で經驗することでございます。最も親しい親子、夫婦、兄弟が先づ感化を受け合ふ筈でありますが、實際はこれと反對に、遠くから感化を受くる場合が多いものです。私共もお隣りのお祖母さんよりも、遠く海を距てた未見の知己の方が遙かに親しき關係を保つて感化を受けて居る場合もあります。それ故夫として妻として感化し合ふ事には失敗しても、却つて他人に向つて、よい感化を及ぼす事が出來ぬとも限りませぬ。

□

然し夫妻の情愛はまた格別の問題でございませう。缺點の多いものが必ずしも情愛を削ぐとは申せますまい。殊に社會に起つては常に強者の位置を占め、且つ常に生活の爲めに奔命して利益打算に鋭敏になれる男子が、婦人を捨つる事は常であつても、戀を命の婦人が男子を見限るといふ事は、極めて稀れでありませう。この爲めに弱き婦人は自殺する迄の悲運に陷り、或は更らに男を乘じさせる場合の多いのを見て、向氏は「感化出來ずば斷然去るべし」と覺醒の聲を婦人に向つて放たれたものと思ひます。いつを見限りの時といふ事は、時と場合とによつて、異る事ではありませうが、わが半身と思ふ夫に叛いて身を殺すその前には既に夫妻の間に渡り難き溝渠のあつたものと見て差支へありませぬ。此場合もし一道の智識の閃きがあれば、必ず過去の誤つた道を斷然捨てゝ、又新らしく出立し直す事も出來やうにと惜しまれます。

□

婦人が命よりも大切に思ふ面目の問題が、時には割合に價値の無い因襲であつたりする事もあります。一旦嫁した者が、再び親の家に戻るといふ事は、本人は勿論一家の不名譽たるには違ひなく、誰れしも望む處ではありませぬが、其事情に依ては許され難いものではない場合があります。否もし夫が姦淫した場合等に婦人には忍び難い斷然たる處置を取り得る迄精神上に強くなり手腕能力に於て勝れて參つたら社會の風儀はもつと速かに廓清して參らうにと存じます。（三四子）

時事週評

▲議會終る　第卅七議會も無事結了しました。大正の御代に於て總豫算が曲りなりにも通過しましたのは、今度を以て初めてと致します。然も大隈伯首相たると二回、初めて總豫算を成立するとが出來ましたのは、大隈伯のためにも欣賀に堪へぬ次第であります。今度の議會には幾多の波瀾曲折がありました。貴族院との妥協も政府にとりては苦しい事であつたでせう。島田議長と尾崎法相とが在野黨の憎惡の中心となつたとも注目すべき現象です。大隈内閣は議會後辭職する内約が貴族院中の一派との間に成立してゐると風評されますが大隈内閣が倒れるならば、もつと堂々たる理由に依るとは憲政の發達上望ましいとであります。

Digitized by Google
Original from
UNIVERSITY OF CALIFORNIA

一人一評

牧野みね子

一

眠つてをるか醒めてをるのか分らぬ—とは昨今の男爵牧野伸顯君に對する適評であるさうな。あの直截的手腕の持主であつた甲東侯の第二子が此く迄も不得要領であるのは、確かに興味ある反襯である。が、この牧野男が山本伯の失脚した後の薩州派の統領に押されてをるのも亦面白いことゝ云はねばならぬ。而して『新聞紙』が牧野男を宮內大臣に任命しやうとすることに對して、最も反對を表するものは薩南出身の少壯派であると云ふ。併し此の少壯政客達よりも、猶ほ牧野男の宮廷入りに一層の反對をするものは、男爵夫人みね子であらう。

何故なればみね子夫人は、その良人が文部大臣であり、外務大臣の椅子を占め、こゝに宮內大臣の榮職を忝うするよりは、更に輝く希望を有つてをる。而して其の出身と周圍に考へても、決して此の希望が過大に失するものでないと信じてをるのである。

二

牧野男が甲東侯の第二子であることは繰返すの要もあるまい。が、男爵夫人みね子は、明治政史に名高い警視總監であつた三島通庸の長女で、貴族院の有力者にして日本銀行總裁をしてをる子爵三島彌太郎君の姉である。このみね子が牧野夫人になる迄には、こゝに美しいロオマンスがある。

誰も知つてをるやうに、かの條約改正に成功しやうとする明治政府の努力の飛沫は、歐化主義となり、鹿鳴館裡の舞踏ともなつた。が、この歡樂の巷に鬼總監の同伴したのは、實に花恥しき妙齡のみね子孃で、確かに其の優しい容姿は年少い貴公子達の胸を躍らしたものである。が、歐洲留學から歸つて、當時の新知識の指折であつた牧野君も其の一で、遂に成功の冠は此の人の頭に加へられて、三島みね子は牧野みね子になつた。

三

故三島子には二人の愛娘があつた。而して長女はみね子で、第二女は秋月左都夫君の配になつてをる。この秋月夫人が溫柔の淑女であるに反して、みね子夫人は快活の女性であり、何事にもてきぱきした奧樣で、妙齡の頃には男を男とも思はぬ位で、或時は父が父である丈けに權柄振るとも云はれた位である。が、現在の牧野男爵の令夫人としては、洵に好配と云はねばならぬ。全く牧野男は好い奧樣を有つたものである。

その妙齡の頃に多少の非難を受ける位であつたみね子夫人の快活な氣分は、決して今日も失はれてゐない。否な、最も貴いタイムは、その蓮葉——快活の性質に善い變化を與へ、あの經驗と云ふ過去は、みね子夫人を圓滿貞淑の『內助者』に養つて、現在の牧野夫人は、只管に良人をして輝く希望の地に到達せしむべく、その一切を捧げてをる。あの不得要領の牧野男が薩派の代表者に押されるには、確かにみね子夫人の力の加へられてをることを知らねばならぬ。それは牧野邸に出入する少壯政客達が夫人を甚だ推稱するに徵しても分るのである。(冬湖學人)

Digitized by Google　Original from UNIVERSITY OF CALIFORNIA

逆境に處する用意

生活難は境遇の激變を作る
不測の運命と不斷の心掛け

生活を離れて生活を觀得る眼

中村吉藏

△幸福は己の内心から

花はそれ自身幸福ではない。花を美しいと感じて見る人の心があつて、初めて花の美も意義がある。裕福な贅澤な安易な其日〳〵を暮せる境遇——上流社界の人々は、慥かに幸福である。けれども、其幸福な生活を自覺せず、それを世の常として、浮々と暮してゐるならば、精神なき花自身が幸福でない如く、其人々の生活も幸福ではあり得ない。自分の生活を投げ出して、それを客觀視し、それを鑑賞し得る——即ち藝術的に吾が生活を見得る人にして、初めて眞に幸福な生活を生きる事が能る。そしてまた、此の客觀的鑑賞的態度を忘れぬ人々ならば、境遇の激變、順境より逆境へ落下した場合にも、多くの驚愕を覺えずして、新境遇に適應してゆけるであらうと思ふ。

△赤裸々な生活力

人間が安易な生活をしてゐると、虛榮虛飾のある種々の不純な感情が混つて來て、人間の赤裸々な生活力と云ふ樣なものを忘れさせられる。そして一朝不測の災厄に遇つて、今迄の生活の根底を覆へされ、社會のどん底の、これまで知らなかつた境遇に陷つた時、其等の人々は殆んど生きてゆかれない樣な不安と恐怖とを感ずるであらう。

△生きんとする本能

然し順境にある人々でも、「人間はどんな窮迫した境遇に押詰められても、尙ほ且つ生きんとする本能があるものである、そしてそんな窮迫した生活の中にも希望を認め光明をのぞんで、より良き生活に向上せんとする本能がある」と云ふ事を自覺して、社會生活のいろ〳〵な實相を究めて居つたならば、假令どんな境遇の激變に遭遇しても、心の用意なく漫然と暮してゐたもの丶如く、周章狼狽せず、敢然と新境遇に處する事が出來るであらうと思ふ。

△小說演劇を味ふ事

世の中の種々な生活狀態を、一つ〳〵經驗し得るものではないのだから、人間社會の眞生活に觸れた小說演劇等を味ふ事は、如上の心の準備をする一つの方法と云つてもよいであらうと思ふ。

四

强い心と職業

嘉悅孝子

△簡易生活と貯金

今後の生活は益々困難になるばかりでありますから、何人も此の世の中に處してゆくには、如何なる逆境に立つても

Digitized by Google
Original from
UNIVERSITY OF CALIFORNIA

周章狼狽せぬ丈の心掛けが肝要でございますが、其根本として私は「簡易生活」の實行をお勸めいたしたいのです。昨秋御大典に際し何か紀念になる事をと考へました結果、先づ紀念貯金をしたがよいと存じ、電話交換局に於て其奬勵の講演を爲し、小田原婦人會其他に於ても機會ある毎に之れをお勸めいたしました處現在までに交換手の二千餘名、私共の學生二三百人、其他多くの人々が實行されて居ります。

△餘裕なき生活からも

貯金と云ふ事は、人間をして質實な生活に入らしめる第一歩で、其貯金額は無理をせずに出來る丈――先づ一日一錢――一月三十錢位、それ以上は其人の身分に依つて多少を定める事にしても、之を實行されたならば、其貯金通帳を見る度に贅費を節して簡易な生活をいたさうと云ふ心を起させるのであります。また一寸氣のつかぬ所から貯金のお金を生み出す事も出來ますので、餘裕のない生活をしてゐると思ふ人々でも、少し心を用ひたならば容易に實行し得る事であります。近頃私が「現在の生活費から思はぬ貯金を生み出す法」と云ふ小冊子を公にいたしましたのも、此心からであります。

△實例の一つ二つ

けれども如何に聲を大にして簡易生活貯金等の勸告をいたしても、今の人々は身分不相應に贅澤な生活をして居りますから、一朝逆境に陷れば殆んど困窮して爲す處を知らざるに至るのであります。此頃も私の處に、夫が腦の病氣で働けなくなり、子供が三人あるのだが、如何したらよいでせうと相談に來た卒業生がありましたから、幸いタイプライターの出來る女でしたので、今後は夫に子供の保育と家の留守役を頼んで、自分はタイピストとして働けば、什麼にか此難局を切り拔ける事も出來やうから、と申してやりました。他にも此樣な相談を受けましたが、同じ樣に自らお働きなさいと申してやりました。

△此の覺悟と修養

要するに此れからの良妻賢母たるものは、まかり間違へば夫に代つて一家を負ひ立つ丈の覺悟と修養とが無ければなりません。之れさへあれば、日常不安に襲はれもせず、また一旦逆境に立つ事ありとも之れに處するに、多くの恐怖を感ぜずに濟むでありませう。女の墮落は多く此の不安な頼りないと云ふ弱い心から來るものでありますから、女の子の親たり、敎育者たるものは、常に心して、娘達に逆境に立つた場合にも何は決然と之れに處し得る強い心と、適當な手段(職業)とを敎へ授けねばならぬと思ふのであります。

自由と健康

日向きむ子

△精神生活の狂ひ

逆境に陷つた場合、金の問題よりも、もつとむづかしいのは、家庭の精神生活に狂ひが出る事です。順境の時は、夫は妻に困らぬ丈けの金を與へて、妻はこれを以て上手に家計を取り、夫を慰め勵まして居れば、先づ事はないのでありますが、一旦逆境に陷つた場合は、夫婦の間はもつと眞劍なものになりますが、また一方からは餘程氣を付けなければならぬ危機があると思ひます。それも全然夫

Digitized by Google

Original from UNIVERSITY OF CALIFORNIA

について居る女ならば、却つて無事でありませうが、幾分でも自分に腕のある人は、猶更ら注意しなければならぬと存じます。

△家庭生活と婦人の獨立

私が下町に居つた頃「金の切れ目が縁の切れ目」といふ事をよく聞き、また實際藝者等が金のある男に落籍されて「奥さん、御新造さん」と云はれた者が、金が無くなるとまたもとに歸つて左褄を取る、何と云ふ浮氣な事だらうと思つて居りましたが、今考へれば、これ等は浮氣な心計りではない。藝者といふ稼業が敢へて卑しいものと思はぬ彼れ等は、奥さん、御新造さんと呼ばれるのは比較的安易な他位ではあるが、一旦窮境に陥つた場合、なほも男に頼つて養つて貰ふに忍びず、我が腕を以て稼いで行くこそ、その男の爲めでもあらうと考へる處から、再び藝を賣る、そこには家庭生活と婦人の獨立につき、自覺しない爭鬪があるのであらうと思はれます。

△噛みしめ乍ら味ふ事

私共の家庭でも一旦窮境に陥つた場合妻の身として、何か身について居る職業を以て、其の生活を助けやうとすると、自然女は家庭生活から離れて、獨立的に傾かうとするので、夫を慰め、これに捧げるといふ心がおろそかにならうとする恐れがあります。この生活の狂ひが、稍もすれば矛盾や誤解を生じて、乾燥した淋しい逆境に陥つた家庭を一層不幸にする事があらうと思はれます。然し見方によつては、財産や地位や其の人間を飾つて居つた浮華な物を全く去つた赤裸々の場合に、夫も妻も眞價を發揮して、却つて滿足と尊敬とを持つやうになり、一層眞實な家庭生活を味ふ事が出來ると申せませう。私の今としては凡ての境遇や事情に捉はれずして、苦しい境遇を噛みしめながら味つて行く完全な自由と健康が一番欲しうございます。この二つがあつたら逆境とか順境とか云ふ境遇の變化はいと小さいものと思はれます。

私の經驗から

某未亡人

△死なうと思つた窮境

過日鍋尾男爵夫人が自殺された記事を讀んで、實に泣きました。もし私が男爵夫人に會ふ機會があつたら、死なせはしなかつたらうにと思ひます。有爲な材を抱いて、事業半ばに斃れた私の夫が生前に、私も幾度か死なうと思つた程の窮境に陥りました。當時多勢の塾生を預つて居り、生活費は嵩む上に、夫は肺病でその療養には一方ならぬ費用がかゝるのです。「もうこの事業はどうせ成立しないもの」といふ諦めをつけて、城を明け渡せば割合に容易く解決がついたでせうが、人情といふものはさうしたものではなく情熱のある人程「どうかして／＼」と思ふ念があるので、その爲めに借金は益々募るといふ事になりました。

△死力を盡して

もはや夫妻の信用も、友人の好意も借り盡して終つた晩、五百圓無ければ動きがとれない、といふ時でした。或る知己を頼つて借りに出かけました。夫は喀血をして居る、乳呑兒は餓ゑに泣いて居る、事業の危機は迫つて居る。私は身に滲る夜の川風に洒されながら、とある橋の上を行きつ戻りつして、いつそ死んでこの苦を逃れた方がましだと思ひまし

Digitized by Google Original from UNIVERSITY OF CALIFORNIA

た。然し死ぬ氣で鐵面皮しく今一度知己に縋つて見やうと勇氣を出しその家に行き、案外成功して五百圓を調達して勇んで歸つて來ると、病の夫は蒼白い手を延ばして、火鉢の上に饂飩をかけて温めて置いてくれたりした事がありました。

△縺れ切つた生活から

かうした丹誠も甲斐なく、夫は遂に長逝しました。澤山の借金と、多勢の子供と、傾きかけた事業とを一身に擔つた私は、どうしてこの縺れを解かうかと、暫らくは考へ込んで居りました。友人等は「奥さんが虚榮が強いから、あんなに借金も出來たのだ、この場合身を落して、金鍔燒きにでもなればよいに」と云ふのです。然し私には多少なりと教育があり夫の築いてくれた地盤がある。是を利用して働らかないのは僞だと思つて居りました。さうは云ふもの丶、お米も一升二升と買ふやうな始末で、外の用事が手間取つて、夜の十一時頃に歸つて見ると、十二になる娘は、赤兒に手枕をさせて、スヤ〱と寢らせながら、枕下に「お米を磨いで置かうと思ひましたが、米櫃にありませんから、止めました。お先に御免下さい」と紙に書いて寢て居るのです。

△生きて行く道が啓ける

子供等にもこんないぢらしい目を見せるつらさに、その頃は夫の墓詣りをすると、「あ丶この儘自分も墓に沈んで終つたらさぞよからうに」と思つた事がありました。その私が今日こうやつて暮して行けるといふのは不思議な位でありますが人間は死ぬ程の覺悟があれば、立派に生きて行く道が啓けるものであるといふ事を逆境に立つた方々に申上げて、希望を持つて戴きたいと思ひます。

芝居の女から

江戸屋主人

■小橋様　新富座の景氣はすばらしく初日以來掛値なしの賣切れと云ふ有様です。今度の人氣を呼んだ雁、歌、顔合せの時雨炬燵は、原作の近松の作から見ると芝居には演じ手よい様に、余程小刀細工を弄した嫌があります。私は原作と脚本との優劣を申し上げるのではありません。今申し上げ様と思ふ女房おさんの心理状態には、原作も其脚本も相違はありません。

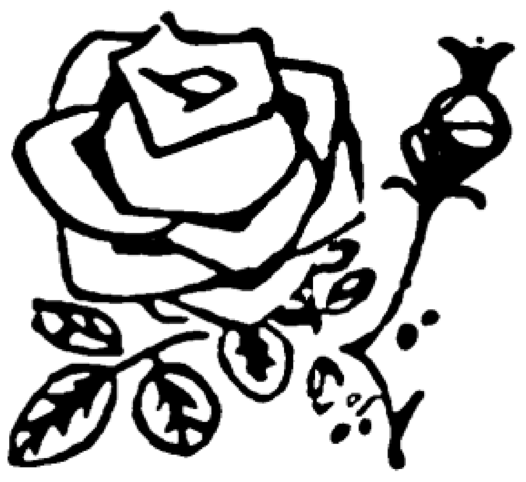
■私はおさんのために本當に泣きました、と云ふより歌右エ門のおさんは原作其儘の心持ちがでゝ大變よい出來でした。おさんにしては品が邪魔をすると云ふ批難もありましたが、私には少しも苦になりませんでした。三年間も茶屋酒に浸つて家を外にした夫治兵衛に一度も不平がましい事さへ言はなかつたおさんです。今孫右エ門の情をこめた意見により、紙治は最早や小春に未練がないと別れの誓紙をかいたもの丶、何んとなく、後髪のひかるゝ様な戀の夢から覺めきらないたよりなさとおさんに對する今迄の氣の毒さが、雁次郎の紙治の顔なり形なりによく表はされてゐました。

■炬燵に横になりさしすると涙ぐむ紙治を怨めしさうに見て、たゝみかけた羽織を持ちながら「あんまりじや治兵衛殿、夫程名殘惜くば誓紙かゝぬがよいわいの…」と太夫の咽喉から艶のある聲が流れ出ると其れに連れて歌右衛門のおさんは、怨み嘆きながら夫に對する情愛を欠かない仕草が、こうした世話女房のしとやかさや、淋しさが觀客を泣かせずには置きませんでした、小春が紙治に愛想盡しを言ふたのは、おさんの手紙を見て、おさんへの義理立てに死ぬ氣に違ひないと悟つてから、小春を身受けの金の不足に、簞笥の抽斗から着物を一枚づゝ積み重ねて、質置きをしやうとするのです。此處のおさんの心持ちには微塵も衒氣やあてこすりの樣な犠牲の心はないのです。心から小春の爲めを思ひ、苦勞し嘆くのでした。無理に舅に連れ行かれ涙ながらに夫と別れ、心底から小春との幸福を祈るのです。

■おさんは弱い女でした一生を通して、他人のために苦勞するのです。紙治の放埒に對してさへ、恨んだり嘆いたりする事の出來ない女でした。生涯をあきらめと淋しさにジツとこらへて送らればならない女でした。心中した紙治と小春の永劫の幸福のみ祈つて、決して自分の不遇を嘆かなかつたらうと思ひます。

七

Digitized by Google
Original from
UNIVERSITY OF CALIFORNIA



夫妻の友情

日本女子大學校長 成瀨仁藏

△進歩を計る尺度

私が過る三十年來女子教育に從事して居る經驗上から、近頃女子にかやうな進境を認めます。其の進歩を計る尺度は、勿論教へた分量でもなければ、學問の普及した廣さでもなければ、また教育を受けた者が、どれ丈けの結果を擧げたかと云ふ事でもありません。只女子の向上心によつてゞあります。化石のやうな昔の女子に比して、學ばう進まうといふ熱誠や意氣がどれ程動いて來たか、即ち女子の自發力がどれ程盛んになつて來たかと申すことであります。

△裏面にある面白い現象

今日は全國に二百幾十の高等女學校が出來、殆ど男子の中學と同樣に女子も中等教育に進んで居りますが、只それ丈けを以て、女子の向上心が盛んになつたとは申せませぬ。高等女學校以上の教育をどれ程望むでありませうか。各地の高等女學校の補習科や、專攻科に就て調らべて見ますと、これは却つて入學者が減つて、或る處などは中止したといふ現狀であります。これを以て女子の向上心が年と共に減じて行くかの如く考へるのは早計で、その裏に面白い現象が現はれて居るのであります。

△學問の價値を知る

それは補習科專攻科等の課程が、單に高等女學校の復習に止つて、何等の新らしい學藝を授けるのでないといふ處から寧ろ進んで學ぶには當らぬと考へて居る者が多い爲めです。東都の上流の子女の學ぶ某女學校の如きは、數年前迄は、卒業迄居るのは賣れ殘りと云ふ感があつて、不名譽の事と思はれて居たさうであるが、今年は五十人といふ多數の卒業生を出すと申します。然しその卒業生は申し合せたやうに專攻科へは一人も行かない、却つて他の女子專門學校に三分の一以上行くさうであります。

八

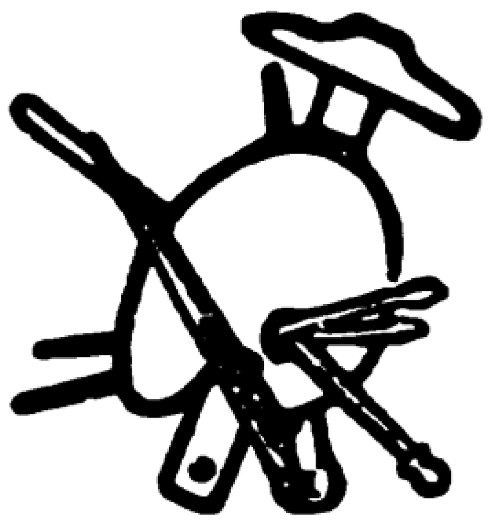
△上流の女子の覺醒

かやうに貴族とか上流とか云はれる社會の女子迄が、今日は覺醒して、我が身價を磨き度いといふ念が起つたのは、昔の卒業證書を嫁入り道具の一つと心得た時代に比して、大なる進歩と云はなければなりませぬ。今日の社會は動搖が劇しい爲めでもありませうが、私のやうな無一物の處にさへ、昨日迄は地方での名望家であつた人の妻君などが、金を借りに來たり、助けを求めに來たりするのが、頻々あるので、その原因を調らべて見ると、多くは母とか妻とかが夫の事業を解せず、また家政を執る上にも迂濶であり富める間は遊興に耽つて夢みて暮し、悲境に陷つては空しく足手纏ひとなるといふ爲めに、それ程世の窮境に陷る者が多いやうです。實際國民の母や妻の進歩と否とは、國家の元氣に大關係あるもので、教育にして其の向上心を開發する事が出來なければ、失敗と申さなければなりませぬ。

Digitized by Google Original from UNIVERSITY OF CALIFORNIA

△歐米婦人界の昨今

近く歐米の婦人界を視察して感じた事は、二十年前に彼の地に於て見聞した時には、メレーライオン、ナイチンゲール等身を斯道に捧げて獨立した婦人に偉い人がありましたが、近頃は奥さんであつて、夫と肩を比らべて優れて居る人が多く出來て來ました。夫が教授なら、妻も教授であり、夫が慈善事業家なら、妻もこれを同様に助け得る者であり、夫が研究家なら、妻も其の科學的智識に於て勝るとも劣らぬやうな人、例へば、經濟學者のホーセット夫人の如く、夫の著述の大半を助けて居ると云はれて居り、日本にも數年前來朝された社會學者のウエブ夫人、ラヂユーム發見者として名高いキユーリー夫人の如き、何れも夫妻相並んで、敢へて優劣の無い人々であります。これ等の人々の家庭には、夫妻の間に眞の友情があつて、子女は立派に生ひ立ち、專門は益々積まれて、眞に樂しい生活を續けて居ります。日本も女子の向上心が次第に發達しつゝある今日、遠からず男女の間に眞の友情の成立するかやうな幸福な境地に達する事が出來やうと思ふ。



燒き繪を描くお孃さん

趣味が職業を生む

□

昔ながらに華かな江戸趣味を包む、歌舞伎座と新富座に挾まれた、木挽町一丁目の「小栗レイ」と表札の打たれた門を這入つてお孃さんのまさえさんにと案内を乞へば、可愛らしい二匹のちんもクウーン、クウーンと鳴きながら人なつかしげに尾を振つて迎へました。招じ入れられた二階八疊のお座敷には、趣味深い若い人の朝夕を慰むべき各國各種の面白い玩具が配置よく置れてありました。しとやかな、あく迄も女らしいまさえさんには、根の下つた少し亂れ目の今日の日本髪も、なか〳〵に似かはしく見ました。

□

まさえさんは豊かな家庭に多くの兄弟と共に何の苦も知らずに育てられ、十四の春愛知縣下の小學校を卒へると共に、遙々東都なる日本女子大學校附屬高等女學校に入學し、以來八年間孜々として學藝を勵み、昨春めでたく同校の英文科を卒業されました。この間に父君の事業上に浮沈はあつたやうですが、なほまさえさんの身に、荒い波風が當る程の事はありませんでした。

□

其の後まさえさんの一家は東京に移られました。まさえさんは何時迄もぼんやりして兩親にお小遣ひ迄貰つて過すのを快い事とは思ひませんでした。折しも母校の家政研究館が建築さるゝといふので、卒業生の間に寄附金募集が始まりました。只親に貰つたお金を出すのは面白くないと思つたまさえさんは、日頃樂しみにして弄んで居つた燒き繪を、どうかもつと眞面目にして、販賣の出來るやう

Digitized by Google
Original from UNIVERSITY OF CALIFORNIA

にし、その利を以つて、母校の寄附金に當てやうと決心致しました。

□

「初め其の材料費として、十六圓の金を父から借りまして」と其の時の模樣を靜かに語り出でられました。「そして色々な材料を集めて一生懸命に書き初めました。それから先づ手近な母校の商業部に出來上つた作品を陳列して販賣して戴き、一方知合の方々にお願ひして買つて戴いて居りました所、只今では父に借りました十六圓は勿論返濟まして、純益がどうやら母校に寄附したいと思つて居りました位ゐの金高に上りました。

只今女子大學の寮舍に居ります二人の妹は、私よりも熱心に販賣の方を骨を折つて呉れますものですから、特別の注文等も澤山ありまして、毎日忙がしく暇さへあれば繪に親んで居ります。かうして趣味から職業に轉じて燒き繪をして見ますと、僅か鐵筆一本と木片とあれば出來る事で、女の職業として誠に適はしい事に思はれます」と、希望に輝いた眼を上げて語られました。

□

近頃描きましたものを取り出された筆立、短冊入、琴の爪入れ、煙草箱等には自由に筆を走らせた四季取り／＼の草花を初め、玩具の達摩、かち／＼山の兎の舟乘り等、目の醒める程美しいもの、或は印象派風の氣持ちよいもの、或は「お七は戀の爲めに燒け、高尾は戀の爲めに果つ」等と美しい女文字の散し書き等、中々に思考をこらした作品が澤山に見受けられました。エマーソン等からも取りましたものが母校内では喜ばれますさうです。

子供の智慧

□媚びの贈物

お隣の正ちやん(三つ)はお徒をした際に私が睨んで叱りますと、始めの內は向つて來る氣勢を見せますが、自分の割が惡いと覺るや否や、傍にあるあり合せの品物を小父ちやん／＼と言ひながら媚びて手渡しをしやうとするのです。(淺草の小父)

お人形さん

栗原玉葉女史筆

Digitized by Google
Original from
UNIVERSITY OF CALIFORNIA

春の女

栗原玉葉

□

淡い柔かい春の空氣は、凡てのものによく調和いたします。薄綠の木々の芽も長閑ないさゝ川の流の音も、ふくよかな春の土も、悉くゆつたりとした氣分を表はして、霜枯れの冷たさに堅く閉ぢ込められて居た人々に、云ひ知れぬ心の樂しみと、美しい薄紅色の暢した肉とを與へます。春の女は一年の中で最も美しい氣節でせう。艶のある髮、櫻色の頰、ふくよかな手、いづれ劣りはありませんが、生氣ある生々した眼光――これが一番美を増すべきものではないでせうか。其の光を消さない程の淡化粧で、自然の美を壞さないやうに繕たならば、又一入の趣きを添へる事でせう。次は全體の格構から見た四季の比較です。着物の上に表はれた曲線の美の最も麗しいのは、重着の冬でなく、身體の全體を包む處なく其のまゝ見る夏でもなく、時に表はれ、時に蔽れる袷からセルの時分が姿としても美しい時分です。

□

春は青春の時代です。十八九の娘盛から二十二三の初々しい丸髷姿は春の氣分にふさはしい感が致します。もしも今春の女の姿を描寫ますならば、やはりこの年頃の人をモデルとして、ゆとりのある氣分を表はし度いと存します。束髮に結んだ十八九の令孃ならば、紫紺地お召の飛模樣に、クリームに一寸茶がゝつた裳をつけた着物を着せ、クリーム又は青磁に紅入り模樣の袢衿をかけさせ、帶は青地に、金か銀の青海波を出して、心地上目にふつくりと結び、輕いキルクの草履を履かせ、薄水色の洋傘に、銀ぐさりの丸形バック、とき色の薄い肩掛をあしらつて紫の霞たなびく木々の間を逍遙させて見たいと思ひます。

□

袷としても、實物としても、四角四面に堅くきまつた姿は見ばえもなく、味も少ないものですから、常に自然を失はない、くつろいだ容姿をそのまゝに表はし度いと存じます。

かにかくに

安中花子

かにかくに事を求むる氣まぐれの心が君を捕へ來にけり。

其のかみの夢を思ふにふさはしう春の雨そゝぐ宵の靜けさ。

うつし世の總べてにそむき逆らひてかの束の間のゆめにすがれる。

かにかくに女らしうも暮しける一日なりしよひなぎくの花。

黑々と墨ぬりまはしきおもひでの我が越し方に見ゆるわびしさ。

Digitized by Google

Original from UNIVERSITY OF CALIFORNIA

十二

魚肉の脂肪とサツカリンと

薄田斬雲

▲魚肉食の中毒

私は昨年の夏海岸に一ト月半ばかり居ましたが、餘り多く魚肉を食つた爲かして何とも言へぬ妙な氣分になりました。口中が何となく〆め付けられる樣な、何時も腹が空いて居る樣で、善良な食慾も起らず、實に變な氣持です。魚が廉くて野菜よりも低價に得られ、又餘分に貰つたりするので、飯も碌々食はず、魚を食つたので、其の中毒だらうと思ひました。處が秋東京に歸つてから、今度は試しに野菜ばかり食つてやらうと思ひ、一ト月ばかり碌々肉も魚も食はなかつたのですが、別に變つた氣分にもならず、急に骨と皮ばかりにもならず、詰りは何の異狀もなかつたのです。私は穀物と野菜で別條なく生きて居られるのだと云ふ信念が生じて、此頃は滋養物の爲めに神經を勞する必要がなくなつた事を幸福と思ふて居ます。

▲脂肪は煮ると不消化

魚類は、煮たり燒いたりするより生で食ふよりは、不消化だと言ひますが、私が一番感ずるのは、當節出盛りの鰤です。鰤の脂肪は魚の中でも猛烈な樣に思はれます。煮付けにした鰤を食ふと、後でゲプ／＼油臭くて、閉口します。モウ此頃は鰤は眞平だと言つて居たが、其後鰤の刺身を幾度も食つて見ますと、何んとも有ません。魚や獸肉の脂肪は生で食ふのと、煮燒きして食ふのとでは大變な相違です、「凡ての生物は、原則として、自分の體質に似寄つたものを食ふが好い」と言ひますが、之は確かに理由ある事でせう。然うなると、同類同族相食む—即ち人は人を食ひ、獅子は獅子を食ひ—併かも生きながらの血の滴る處を食ふのが一番健康を得るの道だらうと思ひます。だが、人間が生きながらの人間を食ふ事は出來ません、それに、我々は先祖代々米や野菜、魚肉などを食ひ馴れて、第二の天性を形成してあるから、此の習慣に從ふ事は一番好いのです。そこで魚を食ふにしても、煮るよりは生の方が有効だらうと思ふのです。生はより多く我等の體質に似寄つて居るでせう。野菜を食ふにしても、畑に在る生きたものを牛馬の如くにポリツ／＼と良い齒で嚙んだら何んなに美味からうと思ひます。

▲サツカリンは毒物なりや

私は最初サツカリンは毒藥だと聞いて居ました處が、目今多くの菓子は砂糖の代りにサツカリンを用ゐると云ふ話があります。そこで改めて「サツカリンは毒物なりや否や」を知人の藥劑師に問ひますと、決して毒ではない、立派に砂糖の代用をして、低價に付く得用物だ。唯だ我が政府では砂糖を多く賣つて、國庫の收入を增さんが爲めに、サツカリンを砂糖の代用させまいとする政策を取つて居るのだと、答へました。斯うなると、煙草を喫む事を止める樣に、國民を獎勵する事は、日本の國庫に不忠なる事となります。今に誰人か出て、煙草は人間の健康に缺くべからざる必需品であると辯護する時があるでせう。

Digitized by Google
Original from UNIVERSITY OF CALIFORNIA

學校行きの準備

どうすれば一番經濟か

川口華子

△學校着は洋服に限る

私の經驗によりますと、子供の學校着は洋服が一番面倒がなくて、經濟で、其の上成長期にある子供の運動等をも、自由にさせますし、凡べての點に於て利する處が多いと思ひます。洋服は生地は朝鮮等で求めますと、子供の服二着分で、二圓餘りで買へます、これは税も送料も掛けてない値段ですから、とても標準にはなりませんが、東京で求めましても、一着三四圓で買へます。たゞ困りますのは仕立賃の高い事です。洋服屋に出しますと仕立賃が四圓もかゝります。自分で仕立やうと致しますと、一着の服で三日もかゝつて、その上手奇麗に參ゐりません。如何しやうかと思つて居りますと、札幌に西洋人の服ばかりを仕立て居る人で、一圓の縫賃で、仕立て呉れる人があるといふ事を聞きましたから、早速その人に頼んで、大變に安い洋服を着せる事が出來ました。其を今日迄滿二年間着せて居りますが、未に何ともありません。式の時には前掛を除てやりますと、立派な式服にもなつて居ります。

△履物も靴が德用

履物の點から考へましても、下駄ですと十八九錢のが、月に一足宛はなければなりません。それに緒を切らしたり致しますから、先づ二十錢、足袋も二足は見て置かなければなりません。かう數へて見ますと、やはり靴の方が得のやうです。一足一圓二十錢で、修繕費三十錢を見積りますと、一ケ年は充分保ちます。靴下も一足平均二十五錢のものが、八足あれば一年に充分です。近頃雨降りの時用ひます護謨の長靴を、一足五圓で求めてやりましたが、これは何の位ゐ持つか、まだ經驗致しませんから、分りませんが通學致しますには便利の樣です。

△帽子の費用

それに毛絲の帽子が一個三圓、冬のものとして、丸一年使用致しますが、色も燒けず雨にぬれても差支へなくてよろしう御座います。夏は麥藁で九十何錢のを二年使用いたしました。以上は主に被服上の事ですが、學校に入れます時には、敎科書、文房具等も要します。

△文房具の入費

カバン一個、筆入れ、鉛筆、ナイフ、物指、護謨、色鉛筆等と擧げて數へますと、細かい物で一圓三四十錢かゝります。硯箱等は初めは要しませんが、お習字が初まりますと、お双紙ばかりにも、月に半紙六十枚はなければなりません。ですから文房具費は平均月に二三十錢を費します。世間では子供の一人位ゐと申しますが、敎育費から被服費に至るまで、細かく計算して見ますと、なか〳〵少ないお金ではありません。

子供の智慧

□二人寄せて男のをとな

忠ちやんは四つになつたばかりです。よく畏がりますから、母ちやんが、「うちには男のおとなの父ちやんがゐらつしやるから畏くはないよ」と申すと、暫らく考へてゐましたが「ぢや母ちやんと忠やがゐてもいゝね、盜人は畏くはないね！……ほら母ちやんはおとなで、忠やは男だから」と申しました。（京都愛讀者）

Digitized by Google
Original from
UNIVERSITY OF CALIFORNIA

履物の掃除

くれは子

△畳付の下駄

下駄の畳がよごれた時は石鹸を溫湯で溶いて、布につけて一寸絞つて拭けば奇麗になります。更に其の上を清水で絞つた布で拭いて蔭干にしてよく乾かします。もし畳が赤味を帶びて來た樣な場合には、蓚酸を少し溫湯で溶いて布に浸して拭き、更に清水で絞つた布でふいて蔭干にします。

△白木の下駄

白木の下駄が汚れた時は、石鹸水で洗ふか、曹達水で洗つてから、清水でよくすゝぎます。

△スリツパ

スリツパの表革はブラシで塵を拂つて揮發油をつけた布でふいておきます。

△靴

靴を雨降りの日に用ゐた時はそのまゝでおくと革がいたみますから、布で泥と水氣をを去つた後、胡麻の油を少し布につけて靜かに擦つて蔭干にしてよくかはかします。忘れても日光に直接あてゝはいけません。雨靴は使用前に胡麻の油をつけた布で拭いておく方がよろしうございます。

△雪駄、ゴム草履

雪駄やごむ草履は、表と臺との間に、十分胡麻の油を觀世よりの樣なもので引いておくとよくもちます。雪駄は決して水に濡さない樣にしなければなりません。

△吾妻下駄

吾妻下駄や足駄の樣な總べて歯のついて居る下駄は歯にさゝくれが出來ると、いゝねが餘計にあがつていけません。このさゝくれを是非まめに刃物で削りとらなければなりません。此の頃は歯の下駄を掃除するものを荒物屋に賣つて居ます。それには歯のさゝくれを削る刃と、歯を洗ふブラシとがついて居ます。

今週の惣菜

櫻井ちか子

□切乾と油揚の甘煮　切乾にざつと洗つて適宜に切り、水をたつぷり入れて茹で、水が無くなつたらば度々水を加へ、軟くなつた時細かく刻んだ油揚を入れ、醤油砂糖でゆつくり味をつけます。切乾は水に浸けて置いたり、茹でこぼしたりすると、大根の甘味が無くなります。砂糖を多くすると美味しくなります。煮たてよりも少し冷めてからの方が美味しく食べられます。

□さゞえの壺燒　さゞえを殼の儘火にかけると、中の身がされますから、之れを引き出し、腸を除り去つて綺麗に洗ひ、適宜に切つて元の貝殼に入れます。醤油、砂糖等を其の貝殼に入れ、少し煮立つたところへ、細かに刻んだ三葉を加へ、味のついた時に其の貝から直ぐに取つて食べます。

□鰈の魚田　鰈の腸をぬき、縦に骨切りをなし後白燒にして兩面より味噌をぬり、一寸炙つて出します。味噌は田樂につける位のかたさでよろしう御座います。鰈は魚田にいたしますのが一番美味しう御座います。

□葱鮪　鮪に一旦鹽をして置いて葱と一所につゆに致します。これは普通の葱鮪よりも淡白してよろしう御座います。

□獨活の青海苔和へ　獨活の皮をむき、ころばし切に切つて一度水洗ひして笊にあげ、別に鍋に酢と鹽と砂糖を入れて沸つた時獨活を入れて一寸煮ます。そして露氣を切つて皿に盛り、青海苔のもんだのをかけて出します。小皿でも燒肴の附け合せでもよろしう御座います。

□淺葱のぬた　淺葱を一寸位ひに切り、茹でゝ笊にあげます。次に味噌を擂り、これに砂糖を入れて酢でときましたものゝ中に入れるのです。むき身の茹でたのを入れますと一層味がよくなります。

Digitized by Google
Original from
UNIVERSITY OF CALIFORNIA

トロイの合戰
木馬の計略

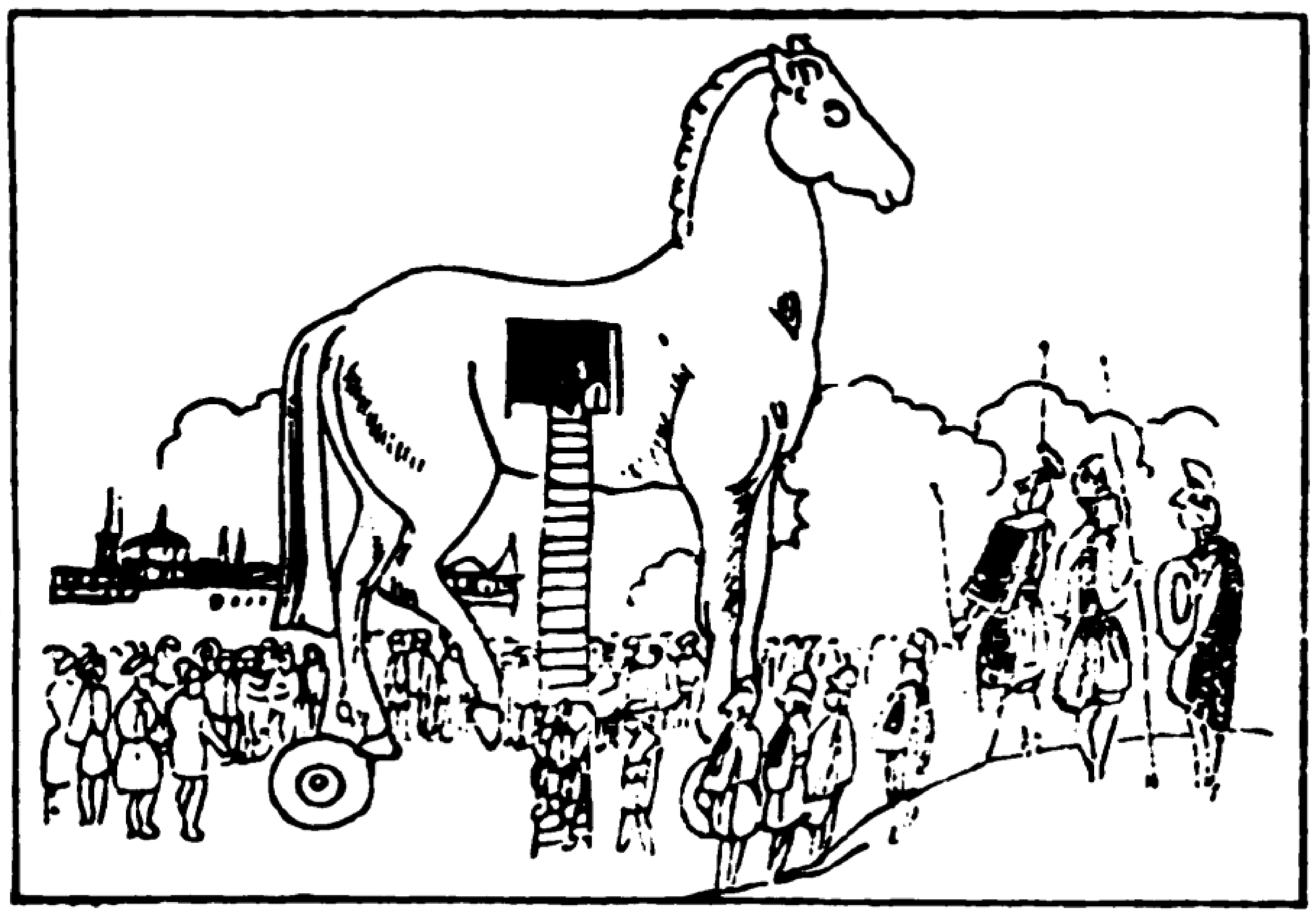
新雲

之も太古にギリシャの國では小亞細亞のトロイと云ふ國と戰を始めました。そして軍艦を澤山造つて海を越へ、トロイの國へ押し寄せ、十年間戰ひましたが、トロイの兵隊は、却々強くて、其のお城を攻落すことが出來ません。

そこで希臘の軍中に智勇兼備の譽れあるユリシスと云ふ大將は工夫をして、大きな木の馬を作りました。支那でも三國誌時代に蜀の國の孔明と云ふ大將が、木の馬を作つて兵糧を運んだ話がありますが、ユリシスの作つた木馬と云ふのは、孔明の作つたほど巧くなかつたと見えて獨りで歩く事は出來ませんでした。併し其木馬は、大變大きいもので、足へ車を付けて曳く樣にしたのです。

ギリシャの兵は此の木馬を海邊に置いて、殘らず軍艦に乘り、「今はとてもトロイの城を攻落す事は出來ないから戰を止めて自分の國へ歸るのだ」と言ひふらし、其日の中大分沖の方へ出ました。

トロイの兵隊共は之を見て、「敵は戰爭に飽きて、國へ歸つた樣だ、海邊へ行つて見やう」と言つて、皆な〱城を出て行きますと、海邊には、大きな〱木の馬があります。其傍に木の札を立てゝ「此木馬はトロイの氏神樣に奉納する」と書いてありますから、トロイの兵共は喜んで「之は好い獲物だ、早速城へ曳いて行かう」とて皆んなで丈夫な綱を付けて曳きますと、車仕掛けの馬ですから、氣持能く動き出して、やがて城の門の處へ來ましたが、木馬は大きくて門を入りません。そこで城の石垣を取壊はし、其處から中へ曳き入れました。



「敵も本國へ引揚げたからには、モウ心配する事はない、今夜からはゆつくり眠れる、お祝に一ッ酒盛りをしやう」と言ふので、トロイの城兵は其晩澤山に御馳走をこしらへ、酒樽を開いて飲み食ひ謠ひ、皆醉ひ倒れて了いました。

するど、どうでせう、大きな木馬の腹が觀音開きに戸が開きまして、中から、ギリシャの兵隊は梯子を下ろして、ぞろ〱と出て來ました、其人數は一百人と言ひますから、隨分大きい木馬であつたに違ひありません。此の兵隊共は、どつと鯨波の聲を揚げて、醉い倒れて居るトロイの城兵を襲ひ、手當り次第斬殺しますと、かねて相談して置いたので、晝の間に一旦海へ乘り出したギリシャの軍艦は、日が暮れて暗くなると直ぐに引返して陸に上り、木馬の腹から現はれだ味方を助けて、トロイの兵を斬り殺し、唯だ一夜の合戰に難なく城を攻落しました。

ユリシスの木馬の謀計で、十年もかゝつて取れなかつたトロイ城を唯だ一夜に攻落したのです。

Digitized by Google
Original from
UNIVERSITY OF CALIFORNIA

全譯 何處へゆく（十）

松本雲舟

訪問の六

ペトロニウスはポムポニヤの憂を帯びた優しい面や氣高い態度やその動作や言葉が自分の心を動かすのを見て驚異の情を隱すことが出來なかつた。ポムポニヤは彼の婦人觀に撞着してゐた。眞髓まで腐つたこの人、羅馬に於て誰よりも自尊の念の強いこの人がポムポニヤに對して歎賞を感ずるばかりか、其の前に居るといつも其の自尊の念を失う程であつた。そして今ヴイニチウスの親切になつたことのお禮を言ひながら、「奥樣」と知らず識らず呼びかけた。これはカルヴイヤ・クリスピニラやスクリボニヤやヴレリヤやソロニヤや其他世間の女達と話してゐる時には彼の心に決して浮んだことのない尊稱である。ペトロニウスは彼女に挨拶して、感謝の語を述べてから、ポムポニヤがあまり家に閉籠つて、演技場にも圓形劇場にも出かけないことを惜しんだ。

ポムポニヤは夫の手を握りながら、靜に斯う答へた「私共はもう年を老つて參りましたので、家に靜かに引籠つてゐます方が樂しくなりました」。

ペトロニウスが答へやうとすると、プラウチウスが、すら〳〵する聲で附言した。「私共は羅馬の神々を希臘名で呼ぶやうな人達とは段々緣が遠くなりさうです」

「餘程前から神々は唯名ばかりになつてしまつたですな」とペトロニウスは輕快に、「それだものですから希臘人が修辭學を敎へるやうになつてから、ジユノーといふよりもヘラといつた方が言ひ易くなつたのですな」

斯う言つてからペトロニウスはポムポニヤの方に眼を向けて、あなたの前に居れば、他の神さまのことは考へることも

十六

出來ませんと言ひたげであつた。で、ポムポニヤが年を老つたと言つたことを否認し初めた。「年を早く老るといふことはあなたのやうな生活をなすつてゐられる方にはないことです。あなたの御顏は歡樂の神も見覺へがございますまい」ペトロニウスは餘程眞面目に斯う言つた。實際ポムポニヤ・グレシナは既に中年を過ぎてゐたが、まだ顏に若々しい所があつた。頭が小さく、姿がなよやかなので、地味な裝をして、陰氣に沈んでゐても、まだうら若い女の面影があつた。

暫くすると倅のアウルスはヴイニチウスが家にゐた時に大の仲好しになつてゐたので、毬遊びをしませうと若い貴族を誘つた。リジヤも少年について食堂へ入つて來た。常春藤の陰で光線がリジヤの面に當つて搖れるので、ペトロニウスが初め想つたよりも一層美しく見られた。まるで妖女のやうだ。リジヤとはまだ一言も交へないのだが、ペトロニウスは起ち上つて、お辭儀をして、オデッセーがナウシカに挨拶したといふ言葉を、普通の挨拶の代りに引用した。

「御身が神々の一柱、廣き天の女王にて

Digitized by Google
Original from UNIVERSITY OF CALIFORNIA

ゐまさば、ジューの大なる娘アルテミスよりぞ唯、その面の美しさ、その姿の氣品は來れるならん。御身が人より生れしならば、御身が生ける物を支配する運命の力の下にあらば、御身の父と母とは言葉を越えて祝福すべきかな、御身の兄弟は祝福すべきかな」

　ポムポニヤすらもこの世慣れた人の優美な禮讓を嬉しく想つた。リジヤは當惑して聽いてゐた。顏は赧くなつた。眼を擧げることが出來なかつた。けれども次第に惡戲さうな笑が口の角に浮んで來て其の面には處女らしい内氣と答へたいやうな慾望が互に爭ふやうに見受けられた。後の方の慾望が勝を占めたと見えて突然ペトロニウスを見上げて、ナウシカの言葉其儘で答へをした、息をも引かすに、致塲でやるやうな口吻で、

「見知らぬ人よ、御身は惡しからず、鈍からず」

　かう言ふが早いか向き直つて、飛ぶ鳥のやうに遁げて行つた。

　今度吃驚するのはペトロニウスの番である。ヴイニチウスの言ふ所によれば、蠻族の生れである娘の唇からホーマアの詩の句を聽かうとは想ひ設けなかつた。で、訝かしさうにポムポニヤを眺めたが彼女は說明を與へやうとしなかつた。彼女自身も笑を含んでブラウチウスの自慢に輝く面を見守つた。

　ブラウチウスは滿足を隱すことが出來なかつた。先づ第一にリジヤを眞に自分の娘として愛して居た。第二に其の昔氣質の一徹から、希臘語を用ゆる新流行を貶してゐたが、希臘語の知識を社交上の修養の絕頂と想はないではなかつた。彼は自ら能く希臘語を學ぶことが出來なかつたので竊かにそのために心を惱ましてゐた。其故に自分の家を蠻族よりは尠しましだ位にしか考へてゐない。この立派な貴族兼作者であるペトロニウスがホーマアの言葉と詩の句で返答されたとを喜んだ。

「教師を養つておきますので希臘語の」とブラウチウスはペトロニウスに向つて「小さい伜を敎へさせてゐますのですが、娘は其の課業を側聽きします。お轉婆ですが、利巧者で、妻も私も大變可愛がつてゐます」

　ペトロニウスは常春藤と忍冬の綠の葉を通して、若い人達が毬投をするのを眺めた。寛衣を脫いて、短衣一つになつたヴイニチウスは毬を投げると、其の向ふに立つたリジヤが兩手を高く擧げてそれを捕るのであつた。初めリジヤは瘦せこけて見えたので、ペトロニウスは感心しなかつた。けれども食堂では全く別人のやうに感じた。曉の女神の善いモデルのやうに想はれた。鑑定人でもあるやうにペトロニウスはリジヤが特別に潜んだ魅力を持つてゐることを見拔いた。

　彼は細かにリジヤを觀察した。何處として批點の打ち所がなかつた。薔薇色の透明な面、いはゞ接吻されるために出來てゐるやうな鮮かな口元、淡靑な海のやうに靑い眼、雪花石のやうな額の白さ、琥珀かコリントの銅を連想せしめるやうにくる〳〵と卷きつけた房々した黑い髮の毛、雅しげなその頸、聖いほど丸こいその肩、なよやかなその姿勢には五月の青春と蕾の花の薫りがあつた。ペトロニウスは藝術家、美の崇拜者らしい氣分になつて、この處女の像の下に「春の女神」と書いても差支へないやうに感じた。

× × × ×

十七

Digitized by Google　Original from UNIVERSITY OF CALIFORNIA

時事

●各宮新御殿御造營地　宮內省にては陸軍省の所有芝區白金元火藥庫跡敷地約八萬坪を御買上に相成る事內定せるが、同地は皇室の御繁榮に伴ひ第二皇子淳宮殿下及朝香宮、東久邇宮各殿下の新御殿御造營地に宛てらるゝものなりと。

●奇緣の新乳人　目下葉山御用邸に御避寒中なる新皇子澄宮殿下の御乳人補缺として曩に高松宮宣仁親王殿下の御乳人たりし府下豐多摩郡野方村沼袋村一御三八農伊藤政五郎妻うた(二十四)と云ふもの御召に相成りたり、同女は去月廿五日葉山に御避寒中なる高松宮殿下の御機嫌奉伺の序を以て御用邸に伺候せし處同女が最近出產せしばかりにて乳量極めて豐富なる事知れ其日より新皇子殿下に御乳をまゐらす事となりしなりと。

●第三十七議會閉院　開會以來幾多の波瀾を閱したる第三十七帝國議會は二月廿八日を以て終了したるにつき翌二十九日午前十一時貴族 院に於て閉院式を擧行されたるが、當日は天皇陛下の行幸御見合せとなり、大隈首相勅命を奉じて閉院式の勅語を捧讀したり。

●海軍行賞　廿三日發表されたる青島戰行賞陸軍將校の主なるものは前號記載の如くなるが海軍行賞は左の如し。

第二艦隊司令長官海軍中將正四位勳二等功三級　加藤定吉
●叙功二級授金鵄勳章(年金千圓)叙勳一等授旭日大授章
第一戰隊司令官海軍少將正五位勳二等功四級　上村翁輔
叙功三級授金鵄勳章(年金七百圓)授旭日重光章
第二戰隊司令官海軍少將正五位勳二等功四級　岡田啓介
叙勳一等授旭日大綬章(賜金三千圓)
南遣艦隊司令官海軍中將從四位勳二等功四級　栃內曾次郎
授旭日重光章(賜金二千三百圓)
第三戰隊司令官海軍少將正五位勳二等功四級　大澤喜七郎

●日本を去る露國大使　本邦駐剳外國使臣の長老なる露國大使ニコラス、マレウスキー、マレウキッチ氏は本國に於ける重任に就く爲め近々歸國する由なるが、氏は本邦にある事既に九ヶ年、一人の愛息は今や歐洲の戰線に立てり。

●來朝せるクラーク博士夫妻　米國宗敎界の偉人クラーク博士は夫人同伴にて二月廿三日來朝せり、博士は三月上旬大阪にて催さるゝ日本共勵會大會に出席後朝鮮支那に赴き東洋に於ける共勵會の事業を精査する目的を有す、博士は兼て米國大統領の候補者として推されたる事もあり、六年前來朝せる時は先帝陛下に謁見の光榮に浴せし人なり、翌廿四日夜神田青年會に博士の歡迎會催されたり。

●京大停學生五十七名　京都帝國大學にては授業料滯納學生五十七名に對し停學聽講禁止を命じたり、停學處分を受けたるものは中產以上のものにして當人の惰慢より授業料を滯納せるもの、校規振肅の意味にて行はれたるなりと、かく多數の停學生を出せるは同大學未曾有の事なりと云ふ。

●高島文展審査員辭任　文展審査委員高島北海氏は過般同委員長まで辭表を呈出したりと。

●簡易生命保險　政府呈出の簡易生命保險案は二月二十八日最終の議會に於て可決されたるが、遞信省にては愈よ來る十月一日より實施する事となるべし同保險は政府が社會政策の一端として行ふものなれば素より營利的のものにあらず、今其概略を記するに保險金最高額を二百五十圓に限定し、身體檢査を要せず十二歲以上六十歲以下の健康なる者なれば男女を問はず自身郵便局へ至りて申込む事を得るものにして掛金は月末集配人が集金すべく、何れの點に於ても至極簡便なれば下流社會のものも保險契約し得べし、其種類に終身と養老の二種あり。

●東京府の養鷄獎勵　年々東京市民の消費する鷄卵は約二十萬圓に達する由にて、東京府は成るべくこれを府下より供給せんとの考より、府下各村に向つて養鷄を獎勵しつゝあり。之れにつき府は副業的養鷄を爲す場合の收支計算書を作製し希望者に配布する由にて、右計算によれば孵化後五ヶ月を經過せし雛一雄四雌を購入し飼養する時は、最初の一年には鷄舍雜器具其他の支出合計十四圓四十五錢八厘、次年の出支十圓七十五錢八厘なるも、收入は第一年に十五圓十一錢二厘、次年に十八圓六十一錢二厘となる故、資金を初め凡ての費用を返却するも滿二ヶ年一ヶ月後に於ては八圓四十九錢八厘の利益を收め得べしと。

●家賃と詐欺取財　今日迄家賃の滯納は多く家主の損失となり了る例ひなりしが、福岡縣人大島英太郎(三十二)は昨年二月より本郷區眞砂町にある一ヶ月十一圓五十錢の家を借り本年二月まで滿一ヶ年間遂に一回も家賃支拂はざるより、家主鈴木泰助より所轄本富士署に訴へ出でたるに、同署が取調の結果大島は妻子四人暮しにて某保險會社の外交員を勤め其收入は到底家賃を支拂ふに足らず始めより全く踏倒さんとの心算にて借家せし事判明したれば、遂に同人は詐欺取財として令狀を執行されたるが、家賃滯納にて刑法に問はれたるは珍らしき事なり。

●婦人問題研究會　第二回の例會を二月二十六日午後四時より、麹町區八重洲町中央亭に開く。富士川博士の女子の身體につき、其の形態、發育、機能、性徴等に分ち、約一時間半に亘りての講演あり。晩餐を共にし、歡談、質問等を交換し、

Digitized by Google
Original from
UNIVERSITY OF CALIFORNIA

八時頃散會。學者名士約四十名會合し、鳩山春子女史其の他一二の婦人の會員も加はれり。

女學校だより

△**學習院女學部** は兼て青山練兵場東南隅一萬四千坪の敷地に新築の計畫なりしが二月上旬より地形に取かゝりたり、同建築は女學部及幼稚舍並に附屬舍等にて總建坪四千坪にて來る大正六年中に落成する筈なりと。

△**共立女子職業學校** 例年の如く畏き邊りの御思召に依り同校生徒製作品御買上遊さるべき旨御沙汰あり、千三百の生徒は天覽技藝品製作に努めつゝあるが三月中旬には全部出來 捧呈の運びに至るべしと。

△**青山女學院** 三月七日午後七時より同校講堂に於て音樂會を開催、其收益金全部をリデル孃の熊本同春病院に寄附する由。

個人消息

▲**石川さだ子**（理學博士夫人） 二十七日四谷大番町の自邸に於て逝去せり、享年四十八歲、葬儀は三月一日青山葬場にて執行さる。夫人は箕作博士の令妹にて良き妻賢き母としての譽れ高かりき。

▲**佐藤欣子**（男爵令嗣未亡人） 寄宿生監督の爲め嗡田女子美術學校へ出勤すと。

▲**吉岡彌生子** 扁桃腺炎に罹り引籠り中の處此程全快せられしと。

▲**姉小路延子**（伯爵夫人） 去月十日男子分娩母子とも健全なりと。

新刊紹介

◉**英雄時代創刊號** 尾崎法相を顧問とし、冬瑚學人宿利重一氏を主幹として新たに生れたる青年雜誌なり。執筆家當代一流の名士にして、全誌を通じて眞面目なる氣分の溢れるは嬉し（定價十二錢送料一錢 青山南町六ノ四十七其の社發行）

◉**思はぬ貯金を産み出す法**（宗悅孝子著、春秋社發行定價二十八錢）現在の生活費から、克己忍耐など苦痛なしに面白く貯金する方法十種を述べたり。ツモリテ貯金、課税貯金、拂ひとの貯金、其他思ひつきの方法あり。家庭經濟の眞參考書なり。

◉**何故に特殊教育の急務を絶叫するか**（ドクトル三田谷啓述非賣品） 僅々十頁の小册子なれど該問題の要を論述し一讀特殊教育の等閑に附すべからざる所以を明かにされたり。

◉**寄贈雜誌** ▲婦人の友三月號（子供號とし六名士の「父として何を爲しつゝあるか」を初め人の子の親たるもの、讀むべき記事滿載定價十八錢郵税一錢五厘府下雜司ヶ谷其社發行）▲家庭のローマ字二の三號（定價郵税共五錢麴町區有樂町一ノ三ローマ字ひろめ會發行）▲ローマ字十一の三號（定價十二錢送料五厘同上發行）▲新日本主義一の三號（郵税共十錢五厘牛込矢來町十一其社發行）

□**貸家を求む** 社友にて夫婦二人切りの者が十二三圓の閑靜な日當りよい貸家を求めてゐます、御心當りの方は御知らせ下さいませ。 （記者）

編輯室より

▲本誌は金曜發行ですから、全國の方々が遲くも日曜迄にはお手に入ることゝぞんじます。家庭生活のお忙しい中にも、せめて、週に二三時間の暇を作つて、御一讀下さいましたら、たゞに誌上から得る利益斗りでなく、讀書の習慣をお養ひになる事が出來ませうとぞんじます。▲なほ讀者の皆樣が、本誌の後援の爲めに一人宛でも讀者を御紹介下さいましたら、これに越した喜びはございません。▲不順の中にも春の暖かさが參りました。春雨降る宵を編者はまだ見ぬ讀者の方々の上に心を走せつゝ、この編輯を終りました。

人事相談所

□本所は婦人週報社の附屬事業として、世の煩悶に惱める男女に同情し、精神上、生活上、其他有らゆる相談に應じ、最も善き解決を與へます。

□本所は絶對秘密の下に、結婚調査、人物調査、財産調査、男女學生品行調査、親裁判上の證據調査等の御依賴に應じ、親切さ誠實を以て其の任に當ります。但しこれには依賴者が至當と想はれる程の低廉なる調査料を申受けます。

□本所に御相談なされたい方は、書面にて申越されるか、若しくは直接面會に來て下さい。面會時間は日曜を除くの外午後零時より、午後四時迄です。

東京牛込區市ヶ谷田町二丁目十七番地
婦人週報社内（電話番町四五六六番）

人事相談所

婦人週報（毎週金曜發行）

定價表
△壹部金五錢（但し郵送料五厘を含む）
△一ヶ月（四部又は五部）金貳拾錢
△三ヶ月（十三部）金六拾錢 △半年（廿六部）金壹圓拾錢 △一年金貳圓廿錢

廣告料
△特等（表紙の二、四） 金參拾圓
△壹等（表紙の三、白紙前付） 金廿五圓
△貳等（色紙の表側） 金廿貳圓
△參等（色紙の内側） 金貳拾圓

注意
▲御註文は一切前金の事▲郵券代用には必ず一割増の事▲送金の爲替名宛は東京市牛込區市ヶ谷田町二丁目十七番地婦人週報社▲振替口座は東京三一六六〇番▲雜誌發送を以て領收書に代ふ

發行編輯印刷人 小橋三四子
東京市京橋區銀座四丁目一番地

印刷所 東京支店 福音印刷合資會社

東京市牛込區市ヶ谷田町二丁目十七番地
發行所 婦人週報社
振替口座東京三一六六〇番
電話番町四五六六番

Digitized by Google

Original from UNIVERSITY OF CALIFORNIA

御註文の節は婦人週報にて見たる旨御記入を乞ふ

新女界

三月號

第八卷　第三號

□新入生及び其家庭に對して私の希望……三谷民子
□新學期を迎へんとして……海老名みや子
□子供を小學校に入學せしむる父母の爲めに……高島平三郎
□家庭のキリスト……海老名彈正
□兒童敎育と活動寫眞……三田谷啓
□女子の自衛……安井哲子
□兒童敎育と米國視察談……岸邊福雄
□最近の政況……吉野博士
□イスラエル王と其豫言者（二）……西内天行
□母の遺言……廣田花崖
□詩人コウパーとアンウ井ン……林靜太

一部十二錢、半年七十二錢、一年一圓四十錢

東京小石川林町四三　新人社　振替東京一四〇〇五

審美的な、衛生的な

專賣特許　帶あげ上め

定價三十錢ヨリ

生れつき姿の惡るい方でも帶を上手にしめると見違へる様に恰好よくなります誠に婦人の姿は帶の形ち一つで御上品にも「しだら」なくもなりますが、さて帶を上手に締めると云ふ事も簡單の様で中々六ヶ敷事で十中の八九は「おたいこ」が「だぶ」ついて見苦るしくなつて居ります之れはつまり帶上げが下がるからであります然るに本品を御使用遊ばさばどんなにしても帶上げの下がる事なく「おたいこ」の形ちも締めたまゝに「きちん」となつて常に後ろ姿が美くしく保たれます、のみならず帶上げを高く脊負ひ上げられますから一般に丈の低い日本婦人には帶から下が長く見えて肩、脊中、帶の調和が誠によく姿が「ほつそり」見えます、又衛生上本品をお用になれば帶上げで胸を締めつけないでも濟むから呼吸が自然で女子本來の呼吸（即ち胸式呼吸）を完全に營む事が出來ますつまり內臟（肺、心臟、胃等）の機能を十分に行ふ事が出來る理けであります、故に衛生上極めて理想的の品であります。

■販賣店■
三越呉服店
三越大阪支店
白木屋呉服店
松屋呉服店
松坂屋呉服店
大西白牡丹
小間物屋萬新商店
問屋富士齋商店
同
本社代理部

英語生徒募集

高等女學校卒業生に適當の各級あり又年長者にして英語初步より學ばれんとする者にも懇切に敎授す、家庭的寄宿舍の設けありピアノ個人敎授の需めに應ず

本鄕區彌生町三番地（電話下谷六八一五番）

英語專門私立　櫻井女塾

院長診察　月、金、木午前及（木）午後六時
林、峰間両副長は目下當院に在勤
東京三番町三十番地（市ケ谷見附内）
電話番町 六二番
東洋内科醫院
院長　醫學博士　高田畊安
電話ちがさき二番
南湖院
神奈川縣茅ケ崎海濱（從停車場半里）
河野、高橋両副長は目下當院に在勤
院長診察　土曜日　午後入院診後應需

クリーニング
は一滴の水を用ゐずして如何なる汚れも殆んど新調同様になります
和洋服 外套インバネス コート
ネル・セル・ショール
半襟毛皮等のクリーニング
色を染 丁寧親切 迅速に致します
○局部シミヌキ
○御一報次第參上
各國大公使館
帝國ホテル 御用
日比谷クリーニング商會
日比谷公園停留場際 電話新橋三一〇八

◎産婦人科◎小兒科
宅診午前 往診午後
病室、産室ノ設アリ入院ノ需メニ應ズ
院長 女醫 吉岡彌生
東京市麹町區飯田町四丁目卅一番地
東京至誠病院
電話番町二三五七

個人教授 裁縫技藝
◎生徒募集 家族的寄宿の便あり
●造花●摘細工●縫細工●綿細工●編物
●儀式用折紙●水引結方 ▲入所時間科目隨意 ●袋物●刺繍●墨細
麹町區富士見町五ノ二
大妻技藝傳習所

胃を丈夫にし消化をよくす
胃强 一個 金拾錢也
改良はあくまで弊店の主義に候も胃强に就いては此上改良の餘地なきまでに相成り居り候
發賣元 目白藥局
小石川高田老松町十七番地
振替口座三一六九二

古本專門買入
小石川區大塚
御報參堂 山加書店

産科、婦人科、小兒科
女醫 井出茂代
東京府内藤新宿番衆町卅一番地
電話番町三六七七番

齒科
ドクトル 富田貞一
電話浪花五四〇五
日本橋區高砂町六
（久松町停留場より西一丁）

美妙水
國試驗大家 千葉晩香先生 發見
長崎藥學士 岡村繁先生 製劑
大瓶 金廿五錢
中瓶 金拾五錢
各送料 金八錢宛（海外は別送料）
◎美妙水の著能
凍傷。濕疹・疥癬 其他
▲虻蜂 ▲南京蟲等に螫刺
發賣元 横濱市青木町輕井澤一九五五
龍明堂 千葉せい
（振替東京壹六五四参番）

◎小兒科
◎内科
小石川區高田老松町十二（細川侯邸前）
千葉醫學士 清水榮

Digitized by Google　Original from UNIVERSITY OF CALIFORNIA

御園白粉及御園化粧品は御料に召させ給ふ本邦唯一完全高貴御化粧料にして専ら實質本位の製法に苦心を重ね取分け皮膚の衛生に留意し容器及體裁を飾らず一切の冗費を白粉其物に集中し弘く化粧界に貢献せん事を期せり。

御料 御園白粉

御園白粉は純無鉛製にして殺菌消毒を施したれば安全此上なく永久の保存と陽氣の變遷に堪へ効能の變る事無く濃淡自在乗りよく伸びよく斑點なく附き肌を透して自然の生彩を現はす事化粧界の記錄を破りたる模範品なり。

ねり製 御園白粉
水白粉 御園の月
粉おしろい 御園の花
[illegible] 御園なでしこ
濃厚化粧水 御園四季の花
高等化粧水 御園の露
濃化粧の粧下 御園の蕾
洋式化粧下 御園クレーム
高等香水 御園香精
化粧香水 御園の橘
高等香水油 御園香油
高等はみがき 御園歯磨

製造本舗 伊東胡蝶園　發賣元 丸見屋商店

Digitized by Google　Original from UNIVERSITY OF CALIFORNIA